

「もし、いま」を考えていますか？

地球にはカレンダーも
時計もありません!!



市民防災・減災セミナー

座間市・
防災啓発研修事業

座間市・
防災啓発研修事業



申し込み先: 座間市危機管理課

電話: 046-252-7395

FAX: 046-252-7773

または

NPO 法人ざま災害ボランティア
ネットワーク

zama.saigaiVN@gmail.com

第1回セミナー 「頑張らない防災・ おうち避難のすすめ」

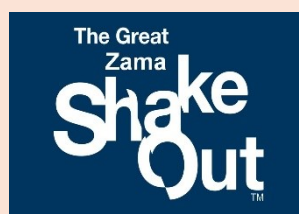
日時: 令和7年5月31日(土) 9:30-12:00 (受付 9:15)

会場: サニープレイス座間 多目的室

定員: 40名 (事前申込制)

持ち物: 筆記用具・飲み物

受講料: 無料





ZSVN 撮影

「入れ物(住まい)を頑丈」に、「中味(家具・家電等)を固定」する。

令和6年1月1日16時10分ごろ、石川県能登半島を襲った「令和6年能登半島地震」で輪島市にあった輪島塗の会社のビルが倒れて、その前にあった、家屋が潰れてしまいました。しかし、倒れたビルに隣接した住宅はほぼ無傷で残りました。

住まいの中は、多少の被害は出るでしょう。でも、「けが」をしない、火事を出さなければ、片付けさえすれば「住むことができます」……このことを忘れないでください。

「災害だ！それっ 避難所へ行こう」…この行動は、考え直してください。

皆さんの中には、自宅が潰れてしまう方もいるでしょう。このような時はどのような行動を取ればよいのか？ おうち避難で過ごすには、どの程度の「備え(量・質)」が必要なのか？ 発災からどのくらいの時間で「行政」の手が届き始めるのか？ インフラの復旧はどの程度なのか？

今回は、このような、災害に備えるための「想像力」を高めるワークショップを行います。

避難所のことをイメージしてください。発災の時刻によっては、開設するための責任者である開設担当職員も現場に到着できないかもしれません。

きつとくる大規模地震そして、連動する災害の時のことをイメージしてください。

令和7年度 座間市+ざま災害ボランティアネットワークの災害を考えるセミナー

令和7年度の座間市とざま災害ボランティアネットワークとの 防災啓発研修事業は、

1 回目は、「頑張らない防災・おうち避難のすすめ」ワークショップ

2 回目は、災害の後の「お金と生活再建を考える」ワークショップ (外部講師:永野 海弁護士)

3 回目は、災害時の避難行動要配慮者のセミナー+支援者・市民・事業者も含めた減災体験ワークショップ

4 回目は、第17回「ぼうさいカフェ」を計画しています。

具体的なスケジュールは、近日中にお知らせします。

また、10月には ShakeOut キックオフ講演会、令和8年1月23日には、第14回目の座間市いっせい防災運動訓練が行われます。

ざま災害ボランティアネットワークの災害を考えるワークショップ

★ざま災害ボランティアネットワークの自主講座「ぼうさい ワン・コイン C・A・T」は

◆ 「災害食ワークショップ」 災害時の食べ物のことを考えみんなで実際の調理をしてみましょう…

◆ 「マンションワークショップ」 マンションって災害の時にどうなるの？

◆ 「トイレと水を考えるワークショップ」などを計画しています。② CATはCHECK・ACTION・TRAININGの頭文字

★別途「マイ発電所プロジェクト」もあります。電気はどこからも支援が来ません。「自助」が全てです。